

こんな活動です

光り輝け 城南プライド ～地域住民とともに～

愛媛県宇和島市		●活動名 城南中学校地域学校協働活動			●関係する学校名 城南中学校	
協働活動開始年度	平成 29 年度	学校運営協議会	指定・設置日 平成31年4月1日設置	地域学校協働本部	有	
活動区分	学校支援活動		地域課題解決学習	地域人材育成		
	地域未来塾		—			
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数		地域学校協働活動推進員等の数	配置人数		
	—		—		4人	
ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	有	ICT機器活用	有	
	220人	—		—		
参考URL	https://uwajima-jonan-i.esnet.ed.jp/					
●連絡先	宇和島市教育委員会 生涯学習課			☎ 0895-24-1111		



●活動の概要・経緯

平成28年3月に宇和海中学校との統合により、12小学校からなる全国でも有数の広大な校区を持つ中学校となった。そこで、平成31年度から学校運営協議会を設置すると同時に地域学校協働本部を立ち上げ、地域コーディネーターが関わりながら、各学年毎に総合的な学習の時間を充実させ、校区における偉人の発掘(古谷和夫氏)や地域課題の発見及び解決を行ってきた。これらの活動を通じて、「夢を持って社会の中で生き生きと働くことのできる人材育成」、「郷土愛を持ち、社会に貢献できる人材育成」に力を入れ、「自立」「自律」「共生」の力を持つ生徒の育成の充実を図っている。

●活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

各学年ごとにテーマを決め、総合的な学習の時間に地域の特色を学習している。1年生は12の小学校区に出向き、地域の方々から自然・歴史・文化・産業について学んでいる。2年生は、主権者教育・防災教育・人権教育・環境教育・福祉教育をとおして「宇和島で暮らす」ことについて学んでいる。3年生は職業講話、職場体験学習を行っている。地元企業の話だけでなく、実際に体験することにより、より深く地域産業について学んでいる。また、全校生徒による避難訓練を、城南中学校がある文京町近隣の幼稚園、小・中・高校(6校1園)、消防署、行政と合同で行うことにより、地域に愛着と誇りを持ち、よりよい社会の担い手となるための意識を育てている。

【実施に当たっての工夫】

学校運営協議会委員が中心となり、既存の学校支援ボランティア以外に多様な人材や活動団体・グループを学校教育諸活動に取り入れ、より効果的な学習活動を行っている。特に地域学習分野では、校区内にある12小学校区ごとにグループを作り、それぞれ自然、歴史、文化、産業を学び、成果を劇やARで発信することで子どもたちの学習を深めている。

【関係機関・団体等との連携状況】

学校運営協議会の委員が主催するNPO法人「うわじまグランマ」と連携し防災教育を行っている。その学習の中で、西日本豪雨災害被災地のボランティアに対する応援メッセージ入り土のう袋について知り、本校の生徒会の呼び掛けで、宇和島市内の全ての小中学校が、3000枚のメッセージ入り土のう袋を作成し、被災地へ寄贈した。

●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

1年生は「12Colors」なる学習に地域の住民の協力を得ることで、各小学校区ごとの地域の自然、歴史、文化、産業を学び、劇やARにまとめることでより深く学習することができた。2年生は「市民生活学」として宇和島市で暮らすことを学んだ。市議会傍聴、市議員との交流や天然記念物「ハマユウ」(植物)の保全活動等を行い(1975年から宇和海中学校が行っていたが廃校により、統合先の城南中学校引き継いで現在まで活動)、地域に密着した学習ができた。3年生は職業体験学習、職業講話を通して、宇和島地域での仕事についてより深く学習した。

●その他

1年生の「12Colors」の学習をきっかけに、近年途絶えていた石応地区の盆踊りを地域の方と共に復活させる活動を行った。また、2年生の防災教育で御協力いただいた、「うわじまグランマ」が主催する「子ども食堂」に、生徒がボランティアとして参加した。



地の石
区中
応の
学地
生区
徒が
の盆
踊り
いり
組た
。ん
め同
だ、
地
。他
区



が加子
参希
加も
望も
した食
募。堂
。り。
全
多校
く生
の徒
生に
徒参